

季節調整値の改定について

- 労働力調査のような月次統計の原数値には季節変動（1年を周期とした変動のパターン）が含まれます。そのため、足元の動き、すなわち前月からの変化を適切に捉えるためには、季節変動の影響を除く必要があります。そこで、完全失業率のほか、就業者数などの主な集計項目について、原数値から季節変動を取り除いた「季節調整値」を公表しています。
- 季節変動のパターンは、毎年少しずつ変化しています。そこで、直近の季節変動パターンを結果数値に的確に反映させるため、労働力調査では、毎年1月分結果公表時に、過去の時系列データに前年12か月分の結果を追加して、過去に遡って計算し、過去10年分の数値を改定しています。

表 季節調整値の改定状況（完全失業率，2019年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
改定前(%)	2.5	2.3	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.4	2.4	2.2	2.2
改定後(%)	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.2	2.2
差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0

※改定後の季節調整値は、「長期時系列データ」（下記URL）を御参照ください。

URL <<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>>

- 季節調整値の改定の詳細については、「労働力調査の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更について（2020年）」（下記URL）を御参照ください。

URL <<https://www.stat.go.jp/data/roudou/kisetsu/pdf/200131sa.pdf>>